

平成26年度第1回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成26年4月21日（月）13時00分～14時40分

場所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
副学長	津曲 隆
事務局長	岡本 哲夫
文学部長	砂野 幸稔
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	黄 在南
地域連携・研究推進センター長	松添 直隆
学術情報メディアセンター長	半藤 英明
文学研究科長	鈴木 元
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学大学院特任教授	渡辺 満利子

事務局：高山事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、花村企画調整室長、前田地域連携・研究推進センター長、野尻学術情報メディアセンター事務長、教務入試課阿蘇品班長、同課西本班長、

1 開会（進行：高山次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成27年度カリキュラム改正について

事務局教務入試課から、資料1-1から資料1-5に基づき、「全学的方針として市民性の涵養を目指すことを理念として掲げ、全学共通科目構想プロジェクト及び学部での議論を踏まえ、教養（共通）教育カリキュラムの見直しを行い、素案を作成した。今後引き続き検討を行い、8月までにカリキュラム案を策定し、平成27年度入学者からの実施に向け、規定の整備等を行う。各学科における英語及び第二外国語の到達目標等について、全学的目標及び修得すべき能力の具体的な目標を設定した。また、科目群を基盤教育と教養教育に分け段階性を持たせ、新共通教育科目群・科目一覧表を整理した。併せて、新共通教育科目群における卒業要件単位についても整理した。」との説明があった。

続いて、資料1-2に基づき説明があった。

審議の結果、本会議での意見を踏まえ今後進めていくことを確認した。

② 平成27年度入学者選抜の実施方針について

事務局教務入試課から資料2に基づき、「平成27年度の学部の入学者選抜について、特別選抜は、昨年度と同様に「推薦入試」、「社会人入試」、「帰国子女入試」、「私費外国人留学生入試」を実施する。また、自己推薦型入試及び前期・後期日程の一般入試も昨年度と同様の予定。大学院についても、昨年度と同様で実施予定である。平成26年度入試広報については、7月20日、27日に開催予定のオープンキャンパス等を中心に行う予定である。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 平成28年度入学者選抜の実施教科・科目等について

事務局教務入試課から、資料3-1及び資料3-2に基づき、「平成28年度一般入試の実施教科・科目等について、平成25年4月公表済分から環境共生学部環境資源学科の一般入試後期日程試験について変更する。その理由は、入学後特に必要となる「理科」「数学」「英語（外国語）」の学力が高い学生を確保するためであり、小論文を理科（「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」から1科目選択）へ、大学入試センター試験の配点を見直すとともに、合計点を100点下げる。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 教員採用に係る枠取りについて

事務局総務課から、資料4に基づき「環境共生学部における建築計画学を専門とする准教授または講師1名の枠取りである。枠取りの理由は、退職教員の補充であり、平成27年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続いて環境共生学部長から、「前任者の担当授業・研究分野を引き続いて、建築計画学分野を担当する教員が必要である。居住環境を考える上では、建築計画学等の講義が必要であると同時に居住空間を対象とした設計実習も不可欠であり、准教授または講師としての採用を希望する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成26年度一般入試における追加合格者決定について

事務局教務入試課から、資料5-1及び資料5-2に基づき、「前期日程で環境資源学科において欠員が1名、居住環境学科において欠員が1名、後期日程で日本語日本文学科において1名、英語英米文学科において2名生じたため、3月28日に追加合格者決定の手続きを行い、入学定員を確保した。」との報告があった。

② 平成26年度入学者の状況について

事務局教務入試課から、資料6に基づき、「入学者の状況は、男性の割合は39.6%と昨年度より4%程度増、県内出身者は80.6%で昨年度より6%程度増加している。学部の定員充足率は、全体で107.3%。出身校別では、県内は県立

第二高等学校が前年から19名増で42名と最多。県外の最多は宮崎県の小林高等学校で4名が入学している。大学院の入学状況については、全体の定員充足率は62.3%。」との報告があった。

③ 平成25年度4年生アンケート調査結果について

事務局教務入試課から、資料6に基づき、「このアンケートは、平成20年度から実施し今回が6回目。実施時期は平成25年12月から26年2月。質問内容は①学生の属性、②教育に対する満足度及び重要度、③学生サポートや学生サービスに対する満足度、④施設・設備に対する満足度、⑤大学生生活の満足度等の5問。回収率は全学で86.2%。結果としては、本学の教育の中で満足度が高い項目は、「目標とする先生や目標を持った仲間に出会い、切磋琢磨すること」、「幅広い視野や考え方を身につけること」。本学の教育における重要度が高い項目は、「コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけること」、「目標とする先生や目標を持った仲間に出会い、切磋琢磨すること」。満足度と重要度の差が最も小さい項目は、「専門分野の研究に触れること」。逆に、満足度と重要度の差が最も大きい項目は、「外国語能力を身につけること」であった。また、大学生生活の満足度については、「満足」及び「やや満足」とする回答の合計が92.3%となっており、「親戚や後輩等に本学を勧めるか」という問については、「勧めたい」、「本人の志望動機が本学に沿っていれば勧めたい」とする回答の合計が90.1%であった。」との報告があった。

④ 平成24年度（平成25年3月卒業者）の就職等決定状況について

事務局学生支援課から、資料8に基づき、「就職率は、平成26年3月31日現在の未確定の数値と昨年度5月1日現在の確定値とを比較すると、既に0.4ポイント上回っている状況にある。平成25年度の最終的な確定値については、これより微増するものと思われる。」との報告があった。

⑤ 非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料9に基づき、「専任教員として平成26年4月1日より採用が決定していた者について、体調不良及び本務校の都合により急遽非常勤講師として採用に変更する必要が生じ、採用の手続きを行った。」との報告があった。

4 その他

次回日程 平成26年度第2回 5月26日（月）午後1時～本部棟2階大会議室

5 閉会